



城東っ子

学校だより 第2号
令和元年5月7日(火)
文責 校長 阿久澤 一広

学校教育目標(具体目標)～ 本気で学ぶ子 思いやりのある子 元気でがんばる子 ～

新たな気持ちで再出発！～「令和」の時代を迎えて～

これまでにない10連休のゴールデンウィークが終わり、今日から元気いっぱい子どもたちが学校に戻ってきました。この10連休中は、連日、改元に関する記事や報道が、新聞やテレビで大きく取り上げられていました。「令和(れいわ)」という音の響きにも慣れ、新しい時代の始まりに大きな希望や期待が感じられます。

子どもたちの生活や学校での教育活動は、「平成」から「令和」となったからといって、すぐに大きな変化があるわけではありません。しかし、新しい時代を迎えるということで、何となく前向きな気持ちになれるのではないのでしょうか。新学期が始まって、早1か月が経ちました。1か月前の希望に満ち溢れていた気持ちをもう一度思い起こし、より楽しく充実した学校生活となるよう全力で指導に当たりたいと考えます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。



家庭訪問について (4/26～5/15)

4月19日(金)の授業参観・PTA総会・学級懇談会では、たいへんお世話になりました。新学年に進級したお子さんの授業の様子は、いかがでしたか。最初は、ぎこちなく感じた学級の雰囲気も、今ではだいぶ落ち着いてきています。子どもたちは1学期の目標を掲げ、学習や生活において自分なりに努力を重ねています。ぜひとも、担任と保護者の皆様が連携協力し、お子さんの意欲が持続するよう励ましたり、応援したりしていただきたいと思えます。



学校と家庭の信頼関係づくりと連携強化を目的に、4月26日(金)より家庭訪問を行っています。お子さんの家庭での様子や保護者の皆様の教育方針等をお聞かせいただき、学校での指導に生かしたいと考えています。短時間ではありますが、有意義な話し合いとなりますようご協力をお願いいたします。

PTA総会の挨拶より

保護者の皆様、こんにちは。4月よりお世話になっております校長の阿久澤でございます。学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に当たっている城東小学校に着任でき、たいへん光栄に思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



さて、城東小学校は、119名の新入生を迎え、児童数727名で今年度のスタートを迎えました。今日で、ちょうど新学期が始まり2週間が経過しました。「おはようございます！」笑顔であいさつをする子どもたちの姿から、本当に明るく素直な子どもたちであると実感しております。恥ずかしい話ですが、先日、風邪をこ

じらせてのどを痛め、始業式の時は全く声が出なくなってしまいました。当日は、かすれた声で謝りながら子どもたちに話をしました。

その後、少しずつ声が出るようになった私を見て、「校長先生、声が出るようになってよかったですね。早く治るといいですね。」と声をかけてくれる子がいました。その優しい言葉に感激し、「本当に城東小学校に来られてよかったです。」と思いました。明るく素直な子どもたちが育つのは、やはり家庭の教育や地域の力がしっ



かりとしている証だと思いました。本校では、学校教育目標を「心身共に健康で、豊かな情操と知性を備え、強い意志と実践力に富む児童の育成を目指す」とし、「本気で学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」を具体目標に、日々教育活動を進めております。また、「家庭や地域とともに歩む学校づくり」という学校経営方針を掲げ、保護者の皆様や地域の皆様のご協力をいただきながら、学校教育目標の実現に向けて、精一杯の努力を重ねて参りたいと思っております。

今年度、本校では、「確かな学力の向上」「いじめのない学校づくり」「安全・安心な学校づくり」の3点を重点目標と考えます。その中でも、「いじめのない学校づくり」が、全ての目標達成のための必要不可欠な条件であると考えます。そのために、子どもたち一人ひとりのよさや個性を認め、笑顔あふれる学級や学校づくりに全力を注ぎます。明るく楽しい学級では、絶対にいじめは起こりません。いじめのない学級では、みんなで意欲的に勉強にも運動にも取り組むことができ、自然と学力が向上していきます。いじめのない学級や学校であれば、保護者や地域の方々からの信頼を得ることができ、子どもを守るための協力を得られることに繋がります。



「いじめ」という言葉には、すごく嫌な悪いイメージがあります。最初から、「いじめ」をしてやろうなどと考える子は決していません。友達とのちょっとした意見の食い違いやトラブルから、「いじめ」に繋がるがよくあります。多くの子どもたちが集まる学校では、意見の食い違いやぶつかり合い、そして、些細なケンカなどはよく起こります。大事なものは、そのことを教師が正しく把握し、その場で子どもたちにどう解決や対処させるか、ということです。学校は、知識や技能、思考力等を学ぶ場であると同時に、社会性を学ぶ大事な場でもあります。教師が、常に子どもたちと寄り添い、研ぎ澄まされた人権感覚で子どもに接し、人間関係づくりを教えていくことが重要なことであると思います。このことを常に意識し、相手の考えを尊重し、思いやりをもって友達と仲良くできる子どもの育成に全力を尽くす所存であります。

最後になりますが、5月より「平成」から「令和」と新しい時代になります。今から65年前、城東小学校が新設校として誕生しました。学校創設時の理念は、校章である三角形の楓の葉に込められています。楓の新緑は「斬新さ」、楓の紅葉は「情熱」、三角形のデザインは、東小・塚沢小・佐野小の一部が集まったという「和合」という理念です。「令和」とともに来年度から、新指導要領の全面実施となり、学校の教育活動も大きく変わります。全てが新しくなる時代にこそ、城東小学校創設時の理念である「城東魂」が必要となるのではないのでしょうか。「すべては子どもたちのために」を合い言葉として、今後も努力して参りますので、保護者の皆様、今後ご理解とご協力の程よろしくお願ひいたします。